



北上市立 鬼の館だより 第34号

KITAKAMI Oni MUSEUM

一斉祈願!! “ヴォ～ヴォ～”鳴り響く木ボラの協奏!!

今年の福豆鬼節分会は岩崎地区青年部のメンバーが多く集まり、イベントへの取り組みに一致団結しました。古くにこの地域で行われていた木ボラによる邪気祓い儀式を、今回催しのメインとして行うために青年部各々が木ボラの作製に取り組みました。

当日は一人一人が木ボラを持ち、館内外や来場者の邪気を大音で追い祓いました。

写真上=福豆撒き 写真中=青年部が作製した木ボラ 写真下=復元木ボラ協奏





↑青年部木ボラよる邪気祓いで幕開け。

↑城内太鼓の公演

↑雷鳴放射(ゲ-ム)

↑爆裂赤面大黒(ゲ-ム)



↑餅つき体験



↑鬼汁早飲み(ゲ-ム)



↑こども園(刀剣舞の狂い)



↑翔南高校剣舞部(膳舞)



↑上=大黒舞 下=民俗衣装に着替えて



↑庭田植えの儀式



↑岩崎鬼剣舞(三番狂い)



↑木ボラによる邪気祓い



↑花火の打ち上げ



↑上=輝く花火 下=夢あかり



↑ご協力いただいた岩崎地区自治振興協議会青年部の皆さん

ふくまめおにせつぶんえ

福豆鬼節分会 ～無病息災祈願！地域に伝わる風習を取り入れて～

鬼の館の冬のイベントとして行っている福豆鬼節分会。今年は2月6日(日)の昼夜開催とし、延べ1,500人の来場者で賑わいました。毎年恒例の鬼婆戦(ぎばせん)などのゲーム、鬼剣舞公演、福豆・もち撒き、そして夜には花火の打ち上げや夢あかりのライトアップが施されるなど、盛りだくさんの催しを楽しんでいただきました。

特に今回は「地域に伝わる民間風習の復元」をテーマとし、小正月の習俗儀礼である木ボラによる邪気祓い儀式の他に、豊作祈願の庭田植え儀礼、年祝い等に踊られる大黒舞など新たな催しを取り入れ、無病息災を祈願するものとなりました。来場者の中には、踊りに参加される姿やもの珍しさに興味を持たれる様子がうかがえ、地域の文化や歴史に触れていただく機会となりました。

“様々な催しにより体に潜む邪気は大いに祓われ、今年一年の幸福祈願行事となったのではないのでしょうか”

平成22年度 下半期 鬼ツズれぽーと

鬼っこわんぱく講座 鬼剣舞体験 -鬼剣舞をおどろう-

毎年開催している冬の鬼っこわんぱく講座鬼剣舞体験では、市内の子どもたちを対象に、鬼剣舞のお面づくりや踊りの練習を通して、仲間づくり・伝承活動への理解をめざすものとして行っています。今年は市内の4歳児から小学校5年生までの計21名の子どもたちが集まり、発表会へ向けて全7回の講座を受講しました。踊りは「刀剣舞の狂い」に挑戦。岩崎鬼剣舞保存会の皆様からのご指導をいただき、節分会では堂々とした姿で踊りを披露することができました。



発表を終え、修了証書を手にした子ども達。



鬼剣舞の面づくりにチャレンジ!



引きしまった表情で元氣よく踊った刀剣舞の狂い。



今回のワークショップは、「はりこのお面づくり」「びっくりスタンドとけい」「銅板レリーフ」の3つの工作にチャレンジ!みんなの想像する鬼や妖怪たちが形として表現され、それぞれ工夫された作品が出来あがっていました。

冬休みワークショップ 鬼ツズ こうさく大作戦

はりこのお面づくり

今度は
どのお面を作ろう?
どんな表情にしよう?と、
はりこのお面づくりは、
リピーターが出るほどの人気
です。簡単で完成度が高いから
みなさん
ご満足
ご様子
です!



びっくり スタンドとけい

牛乳パックと
ペットボトルで作るエコ
創作活動。細かい作業で大変
だったけどお母さんと一緒に
作った作品は一生の宝物
だね!



銅板レリーフ

銅板の上に
下書きした紙を重ねて
なぞるだけ!市内の“工業
匠祭”で銅板表札作りを指導
された高橋和男氏を講師にお招
きし、作り方を楽しく指導して
いただき
ました。



平成22年度 下半期^特別展 れぽーと

よるず 伝承展

京仏師佐久間溪雲の魅力

10/10(日)～11/26(金)

県内には彫刻美術品や工芸品を手掛けている“匠”とされる方々がたくさん活躍しています。その中で仏像彫刻に携わり京仏師として活躍される、一関市大東町在住の佐久間溪雲氏の作品を紹介しました。壮大な聖観音像や制作途中の仏像などを展示公開し、仏像それぞれの表情や柔らかさの表現、細部に至る緻密な装飾など“仏像の造り”を間近でご覧いただく機会としました。その細工すべてから職人の仏像造りに対する思いを感じ取ることができたのではないのでしょうか。



↑千手観音立像

↑中・聖観音立像
左右・仁王立像(阿吽型)

匠の壺心技体

12/12(日)～2/13(日)

日本の造形文化の背景は、木彫工芸に始まるといっても過言ではなく、現在に伝承される木彫工芸には数多くの分野があります。富山県には「井波彫刻」という欄間や獅子頭などの木彫刻が伝承されています。この特別展では、井波彫刻伝統工芸師の永田豊氏による欄間作品や一般工芸品と共に、木彫刻を研究される方々の装飾作品なども合わせて紹介しました。永田氏の欄間「松竹梅」の作品では、葉や幹の細部に渡る模様が鮮明に表現されるなど、匠の技やものづくりの素晴らしさを知る機会となりました。

鬼・気・木の 造形展



欄間
「松竹梅」
←



山車装飾彫刻
「鶴に雲」→

収蔵 資料展

千種万様22～鬼文化ニッポン～ 鬼神共演～国内 外の鬼の神～ 3/6(日)～8/28(日) 開催中

毎年この資料展では年度を通して当館にもたらされた寄託や購入・寄贈資料などを公開しています。この度の展示では既存資料と併せ、世界各地の民族が有する精神性を探るものとし、様々な仮面などを紹介しています。寄託資料では昨年話題となったゲゲゲの鬼太郎に登場する、キャラクターの形をした燈籠、お面等をたくさん公開し、親しみやすい展示にしています。



が世界
勢揃い！
← 寄託資料
の仮面や



一反木綿・
子泣爺の燈籠→



寄贈資料

氏キャラデザイン 遠野物語 百周年 大江野
 ・焼酎 鬼の手 鈴木明美様
 (奥州市胆沢区) 鈴木明美様
 水木しげるくんイラスト
 井波彫刻伝統工芸師 菅原 夢玄様
 能面 鼻瘤悪尉 (能面師)

平成22年度 収蔵資料

寄託資料
 ・壁貼り付け用ぬいぐるみ ぬりかべ
 ・子ども用うたたね枕 一反もめん グダグダ仮面
 ・ねずみ男像 ・キャラクター 張り子面 燈籠
 ・鬼太郎ちゃんちゃんこ ・鬼太郎キャラクター
 (神奈川県横浜市 新美 康明氏)

平成23年度インフォメーション

☆鬼の館芸能公演

4月～10月 午後1時30分から

鬼の館野外ステージにて開催 鑑賞無料

- 4月24日(日) 北藤根鬼剣舞
 - 5月3日(火) 鬼柳鬼剣舞め組
岩崎おなご鬼剣舞
 - 5月4日(水) 岩崎鬼剣舞
 - 5月22日(日) 二子鬼剣舞
 - 6月5日(日) 鬼柳鬼剣舞(※1)
 - 6月26日(日) 谷地鬼剣舞
 - 7月24日(日) 御免町鬼剣舞
 - 8月14日(日) 岩崎鬼剣舞(※2)
 - 8月28日(日) 相去鬼剣舞
 - 9月25日(日) 滑田鬼剣舞
 - 10月9日(日) 黒岩鬼剣舞
 - 10月23日(日) 口内鬼剣舞
- (※1) は午後2時から
 (※2) は午後1時からの公演となります

★第17回大乘神楽大会

6月12日(日)

☆わんぱく講座

5月～2月鬼関する創作・体験活動

- ・こどもの日わくわくイベント
- ・夏休み・冬休みワークショップ
- ・鬼っこ合宿
- ・鬼剣舞体験

★福豆鬼節分会

平成24年度 2月5日(日) 予定

☆特別展「よろず伝承展」

期間未定

★特別展「収蔵資料展」

平成24年度 2月～4月

鬼学ノート・上編

仮面考

今回は、当館上席主任学芸員による「仮面」についての一考です。
三編にわたってじっくり論説していきます。

『仮面』習俗の文化圏は我国をはじめ世界各国に分布し、国の民族性や精神性、宗教観などによって様々な『仮面』文化を形成し、独特な精神文化として共同体社会における共通的な儀礼習俗のひとつとして現在に受け継がれてきている。

その習俗は国の民族性や宗教観など地域によって千差万別であり、習俗に供される仮面もまたこれらに比類し多種多様である。民族習俗における『仮面』の用途には国内の類例だけでも伝統芸能とされる能楽や地域芸能とか郷土芸能とされる神楽や田楽などの民俗芸能・舞台演劇・民間による習俗儀礼などに使用される数多くの仮面群が即座に思い出される。

これら『仮面』習俗を世界的な視野にたち、その形態について観察すると農耕儀礼や狩猟民族儀礼、祖霊儀礼等が加味された精神信仰に起因していることが理解できる。

1929年に南江二郎氏が著わした『原始民俗仮面考』では、仮面の種類として次の仮面類の存在を述べている。

1) 狩猟仮面

狩猟民族が狩りのため、獲物の動物に仮装するための仮面及び動物の霊を供養するために行われる儀礼に被られる仮面群を指す。

2) トーテム仮面

己の集団と特殊な関係を有す動物や爬虫類、両生類等で民族集合共同体の象徴となるものの顔の仮面類。

3) 妖怪仮面

自己や集合共同体に悪害や災厄をもたらす悪霊を除霊や除災するなど、祓い清めの儀礼に使用される奇怪な仮面類。

4) 呪術仮面

超越的呪術力と霊的な法力を身につけた者が、呪術でもって病魔や疫病などの災厄を祓うために使用される仮面類。

5) 追悼仮面

死という祭儀に望み、死者の追悼の儀礼に使用される死者の顔を表現した仮面であり、死者の精霊（靈魂）の復帰を体現した仮面類。

6) 頭蓋仮面

死者の頭蓋骨に彩色を施して祀り上げ保存することで死者の霊を供養するとともに、この頭蓋骨を模倣して作った仮面を被り踊ることで故人を偲ぶための仮面類。

7) 志気仮面

精悍で勇猛果敢な顔立ちの仮面が一般的であり、主に戦いに望む前の踊りに使用され、兵士の志気を高める効果を生むためのものとされる仮面類。南江二郎氏は、この仮面群を「戦争仮面」(War Masks)として述べている。

8) 入会仮面

秘密結社集団に組みする場合の入社儀式や成年式に被られる仮面類であり、一般的には頭巾タイプの仮面が多く見られる。

9) 霊的仮面

個人や集合共同体が信仰するあらゆる種類の神霊を仮面として表現したもので、抽象的なものが多く、色々な儀式儀礼に使用される仮面類。

10) 雨乞仮面

特に農耕に携わる民族に多用される仮面であり、祖霊が背景に隠されているもので、雨乞いなどの儀式に使用される仮面類。


11) 謝肉祭仮面

イスラム社会の精神文化に起因する仮面であり、昨今普及した復活祭で使用される仮面の他、各地方で在住の民族が独自に創作して古来から使用されてきた謝肉祭用仮面。一般的にカーニバル仮面と呼ばれる仮面で、人面や動物仮面、骸骨人形など種々がある。

南江氏はこれら11種の仮面種以外にも存在するとして12番目に「その他の仮面」として一切を包含した形でまとめ論述している。

この南江氏の「その他の仮面」に包含されるであろう仮面の種類として、筆者は国内の仮面文化を記す上で最も欠くことのできない「芸能仮面」及び「飾り仮面」の二様の存在をここで提起しておく。

「芸能仮面」とは、演劇や民間芸能及び伝統芸能などに使用される仮面群を指し、役柄は様々であり面種も豊富で各地域に伝承される芸能によって画一化されない仮面群でもある。

これらに類する仮面種としては、観阿弥、世阿弥父子によって完成され、伎楽面から派生したとされる能面や地域民俗芸能として各地区に分布伝承されている民俗芸能に使用される仮面群、さらには折口信夫が『春来る鬼』として位置づけ「小正月の来訪神」として「マレビト」と呼んだ秋田県男鹿地方をはじめ、国内の沿岸地域に分布する「ナマハゲ」「パートウ」に使用される仮面など、

癒 見 懸 尉
 民間信仰に類する多々の仮面群を示す。

「飾り仮面」は、一般的に屋内外の壁などに掛けられて祀られる仮面群のほか、道具や船などの舳先に取り付けられて祀られる仮面群である。決して被られる仮面種ではなく、本項では飾り祀って崇拜することによって超越的な力を発揮する仮面群をいう。東北地方の宮城県以北から岩手県南部に分布して信仰され、木や土で作られ憤怒の形相を呈し、家の繁栄や台所、また女性を守る神として祀られる「かまど神」な

どがある。同種の役得を示す「かまど神」であっても、その個々の家々ごとに形相や形態が異なり、材質もまた同様に異なっている。一般的な面相形態については、人面、恵比寿面、大黒面、憤怒面が一般的であるが、これらに属さない宇宙人的な形相を呈した奇怪面の存在もうかがえる。

これら仮面の文化圏は、赤道を中心に北緯40度から南緯40度の範囲にその主体的な仮面文化が営まれ確認されているが、この範囲ばかりではなく、カナダのイヌイット族やアリューシャン列島のエスキモー族など、稀ではあるが北緯65度付近まで仮面習俗の分布が広がって知られている。一方、この主体的文化圏の範疇の中にあってもアフリカ大陸の仮面分布は、北緯15度から南緯15度の間に分布する傾向にあるとされている（吉田憲司『仮面は生きている』1994年岩波書店）。また、隣国朝鮮半島での仮面分布範囲は、北緯39度以北には分布せず、北朝鮮には仮面文化は存在しないことが確認されている（諏訪春雄『東アジア仮面文化の支流』2000ニュースレター11号）。諏訪氏は、同誌の中で中国の仮面文化にも触れ、中国の北方には仮面芸能は存在せず、日本及び朝鮮半島、中国における仮面文化の北限は北緯40度を境とするとも論述している。確かに同氏の論述どおり、国内での仮面はこの世界的な仮面文化の中心的分布範囲に属し、民間信仰に裏づけされた仮面習俗のほか各種仮面芸能などが存在し、北緯40度以北にあたる北海道地区を除いた地域全土に広がりをもっている。いわゆる国内における仮面文化は東北地方の青森県から九州地方の沖縄県までの全域に分布して確認されている習俗文化でもある。

世界的な分布状況に多少の片寄りがみられるが、このような広がりを有す仮面文化の派生はどのような精神背景の下で形作られたものであろうか。次号、「中編」に続く

文責：北上市立鬼の館 上席主任学芸員
鈴木 明美（すずき あきよし）

鬼の里だより

●企画展・特別展

- 〈特別展〉「よろず伝承展
京仏師 佐久間溪雲の魅力」
10月10日(日)～11月26日(金) 3,182人
- 〈特別展〉「鬼・気・木の造形展
匠の壺 心 技 体」
12月12日(日)～2月13日(日) 3,598人
- 〈特別展〉「平成22年度収蔵資料展
千種万様 22～鬼文化ニッポン～
鬼神共演～国内外の鬼の神～」
3月6日(日)～8月28日(日) 開催中

●鬼の館芸能公演

- 10月10日(日) 口内鬼剣舞 観客 201人
10月24日(日) 三館鬼剣舞 観客 109人

●福豆鬼節分会

- 2月6日(日) 入場者 1,532人

●鬼ZZ・プレイミュージアム

- 和紙面づくり 参加者 25人
- 〈冬休みワークショップ〉
はりこのお面づくり
12月26日(日)・14日(金) 参加者 19人
びっくりスタンドとけいづくり
1月10日(月)・12日(水) 参加者 22人
銅板レリーフづくり
1月9日(日)・12日(水) 参加者 60人

●鬼っこわんぱく講座

- 「鬼剣舞体験」
1月7日(金)・15日(土)・16日(日)・23日(日)
30日(日)・2月5日(土)全7回講座 参加者 21人

●鬼学講座

- 京都府福知山市大江町修天童子祭り実見研修
研修生 8人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。
なお、入館は午後4時30分まで。

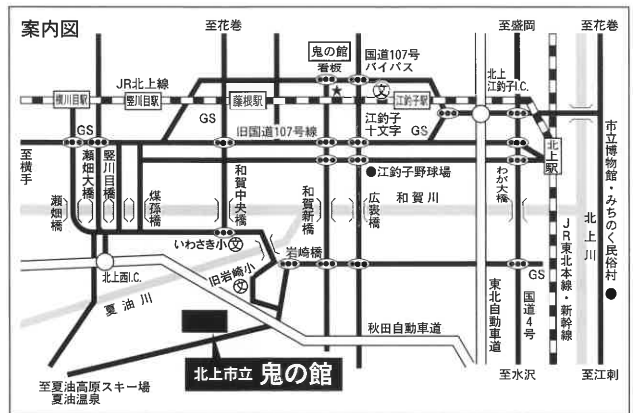
- 休館日**
- ・12月～3月の月曜日
 - ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
 - ・館内整理日(11月27日～11月30日)
 - ・年末年始(12月26日～1月4日)
 - ・臨時休館日(5月31日, 8月30日)

入館料

一 般	500 円(400 円)
高 校 生	240 円(180 円)
小 中 学 生	170 円(120 円)

()内は20人以上の団体料金。
下記の場合、市内小中学生は入館料が免除になります。

- 交通利用**
- ・学習活動で申請利用する場合
 - ・JR北上駅西口よりバスで25分。
煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」下車徒歩10分。
 - ・JR北上駅より車で20分。
 - ・東北自動車道「北上江釣子I.C」、
秋田自動車道「北上西I.C」よりともに車で15分。



北上市立鬼の館だより

第 3 4 号 2010.3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508